

コンドウ印刷 株式会社

DX宣言書

2024年7月31日
コンドウ印刷 株式会社
代表取締役会長 近藤 清規

□ 経営理念

私達は、人の役に立つことを一番の喜びとし、お客さま・社員・地域社会から必要とされる企業であり続けるために、企業活動を行います

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ 社員ひとりひとりが自身のスキルとしてデジタルを使いこなし、円滑に業務を遂行するとともに、お客さまへよりよい商品を提供し続ける会社を目指します
- ◆ 生産性向上の取り組みによって生み出された余力を有効活用し、デジタル技術を活用した新規事業へ挑戦、持続可能な社会づくりに貢献します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年6月)

戦略 「社内に蓄積された情報を電子化し、データ分析・活用を可能に」

- 施策
- ・ 社内に蓄積された情報の中から、業務改善に有効と考えられるものを選定
 - ・ 上記選定した情報のうち、紙媒体で保管されているものを電子化
 - ・ コラボレーションツール(Microsoft Teams)を活用した資料共有や情報交換を基本ルールとすることで、社内の各種情報をクラウド上に集約し、活用しやすい状態へ
 - ・ 社内勉強会や上記施策を通じて、社員全員のデジタルリテラシーを向上させ、「デジタルが当たり前」という意識を醸成

➤ フェーズ2(2025年7月 ～ 2026年12月)

戦略 「社内データの有効活用による、製品品質向上と生産性向上」

- 施策
- ・ 社内に蓄積されたデータを分析し、品質向上策を検討・実施
(例:過去に発生した不良の原因や傾向を分析し、製造プロセスの改善を図る)
 - ・ 製品の需要予測や適切な発注量の計算方法を検討し、在庫管理を適正化
 - ・ 生成AI等を活用し、過去の生産実績など知りたい社内情報にスピーディーにアクセスできる環境を整備
 - ・ 売上、材料単価、製品単価の推移を可視化し、リアルタイムな経営管理を実施可能に
 - ・ 上記施策実行に際して必要なデジタルツールは、導入目的に適したものを選定し導入

➤ フェーズ3(2027年1月 ～ 2027年12月)

戦略 「持続可能な社会づくりに貢献する新規事業立ち上げへの準備」

- 施策
- ・ これまでの生産性向上の取り組みで捻出した余力を活用し、新規事業へ挑戦
 - ・ 社内外から新規事業への挑戦に共感するメンバーを集め、事業立ち上げを担うチームを結成
 - ・ 新規事業開始に向けた事業計画を策定
 - ・ メンバーの育成として、当事業に必要な知識(IoT技術等)を身に付ける勉強会や、OJT形式で学ぶ研修等を実施

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 紙の使用量 : 2023年度比 50%削減(～2026年12月)
- ・ 製品の不具合発生件数 : 2023年度比 80%削減(～2026年12月)